

# 労働法制で保護

## 指針も仕上げへ

### 協同労働

【各党に聞く】

い、支え合いながら社会に必要な事業を担う。組合で働く当事者からも、企業での勤務とは違った責任感が出るほか、働き心地や生きがい、やりがいでも非常によい面があると聞いている」

―超党派で法案を取りまとめる過程で、どこに力を入れたか。

「最も重視したのは、労働者協同組合で働く人たちが、労働者として保護されるかどうかという点。自らも出資して働く

場合には「経営者」なのか「労働者」なのかという問題が出てくる。過去には「労働基準法が適用される労働者には該当しない」と判断された裁判例もあった」

―法案では労働者として明確に位置付けられる。

「労働者は当然、最低賃金や残業代をもらえるし、労働基準法で守られる。労働者協同組合で働く人たちが、労働法制で保護されることをはっきりさせなければいけないという点を重視



みやもと・とおる 1972年、兵庫県三木市生まれ。党職員を経て2014年の衆院選で初当選し、2期目。衆院比例代表東京ブロック。日本共産党厚生労働部会長。

して意見も述べてきた」

―今後の取り組みは。

「全会一致だからといって、国会で審議もせずに採決するのはなく、質疑の場を設けよう」と議論している。法案になじまず、(制度の)指針で対応する

部分は、国会審議で(法案提出者が)方向性を答弁するという大きな仕事が残っている。法案が成立しても、指針までしっかりと仕上げなければならぬ」と(聞き手・中根政人)

### 共産・宮本徹議員

―労働者協同組合の利点は。

「労働者協同組合は労働者が連携して仕事をつくり出し、自らが『運営』に携わりながら『従事』するという働き方。営利追求ではなく、お互いに励まし合